

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミリー

～みむる～

復刊
第9号
平成30年
8月



新任医師紹介

新着情報

診療科紹介:脳神経外科

病気の話:くも膜下出血

各部門情報:栄養管理部/リハビリテーション部

西和医療センター便り

公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefectural Seiwa Medical Center

新任医師紹介

平成30年5月1日付け

麻酔科医長



ふくもと みちこ
福本 倫子

専門医・専門分野

- ・麻酔全般
- ・日本麻酔科学会専門医
- ・麻酔科標榜医

心臓血管外科医員



にわ こうすけ
丹羽 恒介

専門医・専門分野

- ・心臓血管外科全般
- ・日本外科学会会員
- ・日本心臓血管外科学会会員
- ・日本血管外科学会会員

平成30年7月1日付け

外科消化器がん低侵襲治療センター長



たつ みつとし
辰巳 満俊

専門医・専門分野

- ・消化器外科全般
- ・集学的がん治療
- ・上部消化管外科
- ・腹腔鏡下手術
- ・日本外科学会専門医・指導医・認定医
- ・日本消化器外科学会専門医・指導医・認定医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・日本消化器外科学会消化器がん治療認定医
- ・マンモグラフィ読影認定医

眼科専攻医



たけうち たかし
竹内 崇

専門医・専門分野

- ・眼科全般
- ・日本眼科学会会員

外科専攻医



つじもと あきのり
辻本 成範

専門医・専門分野

- ・消化器外科全般
- ・日本外科学会会員
- ・日本消化器外科学会会員
- ・日本臨床外科学会会員

麻酔科専攻医



たまき ゆみこ
玉置有美子

専門医・専門分野

- ・麻酔全般
- ・日本麻酔科学会認定医

循環器内科専攻医



はなふさりゅう た ろう
花房龍太郎

専門医・専門分野

- ・循環器内科・総合内科全般
- ・日本内科学会会員
- ・日本循環器学会会員

新着情報

ふれあい祭りを開催します。



10月20日(土)に今年もふれあい祭りを開催します!

健康講座・健康チェックをはじめコンサートやバザーなどの楽しいイベントを企画しています。
ご家族、ご近所の方とお誘いあわせのうえお越しください!



脳神経外科とは



【診療の内容】

脳に関わる外科治療（手術、血管内からのカテーテル手術）を行っています。脳卒中急性期治療、脳卒中予防治療、脳腫瘍、三叉神経痛・顔面痙攣などの機能障害に対する外科治療、脊椎・脊髄疾患（頸椎・腰椎ヘルニア、脊髄腫瘍等）、頭部外傷などの外科治療を行っています。

【当センター脳神経外科の特色】

特に脳動脈瘤、脳腫瘍（下垂体腫瘍を含む）治療に力をいれています。手術治療時には、合併症を最小限に抑えるために術中モニタリングを積極的に取り入れて安全な治療を心がけています。

【外来診療担当表】

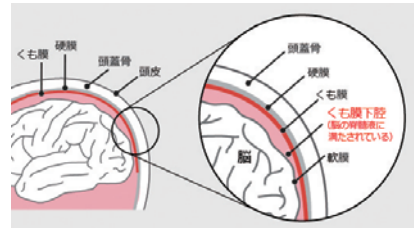
	月	火	水	木	金
午前	弘中 (部長)	竹島 (非常勤)	横山(昇)	弘中 (部長)	横山(昇)
午後	—	竹島 (非常勤)	横山(昇)	—	横山(昇)

病気の話

くも膜下出血

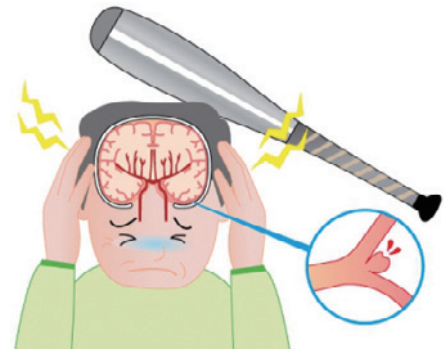
くも膜下出血とは？

脳を包んでる「くも膜」の内側に出血を起こす状態を「くも膜下出血」といいます。



くも膜下出血はどのようにして起こるの？

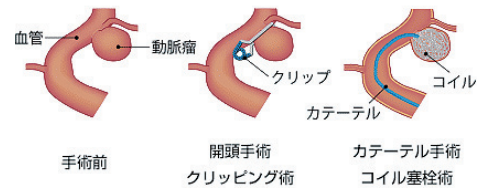
くも膜下出血は突然死の中の6%余りを占め、前触れもなく突然起こります。症状は、軽症な患者さんで、後頭部を金属バットで殴られたような痛みがおこり、重症な方は頭痛、嘔吐を来された後、突然意識をなくして倒れることが多いです。



くも膜下出血の原因、治療法はなにですか？

多くは「脳動脈瘤」と呼ばれる動脈のコブからの出血で起こります。

一旦、破裂した動脈瘤からの再出血を防ぐために外科治療（開頭クリッピング術、血管内カテーテル手術）が必要になります。



くも膜下出血の後遺症はどんなことが起こるの？

脳の病気では常に後遺症が問題となります。

治療がうまくいって命をとりとめたものの、手足の麻痺、言語が話せない、物忘れがひどくなる、ご飯がうまくたべれないなどの後遺症で苦しむこととなります。



くも膜下出血の予防はできますか？

脳ドックなどで MRA(血管だけを写す撮影)を行い、破裂する前の「脳動脈瘤」を発見し、手術を行うことで予防できます。特にご家族でくも膜下出血になっておられる方、高血圧のある方、喫煙される方では破裂する危険が高くなりますので脳神経外科医に相談してください。



栄養管理部

熱中症とは。。。

高温環境による体内水分の喪失、電解質バランスの崩れ、体温調節の不良によって引き起こされる体の不調な状態のことを熱中症といいます。暑さに体が慣れていない梅雨明けの7月下旬～8月上旬に多くみられ、重度の症状になると命の危険をともないます。



熱中症時の水分と塩分の補給の仕方

熱中症が疑われるときは、ただ水分を補給するのではなく、塩分も一緒に補給することが重要です。自分で手軽に作れる食塩水もよいでしょう。

目安として、1ℓの水に対して1～2gの食塩を加えます。さらに失われたエネルギーを補給するために砂糖などを加えると、水分や塩分の吸収が良くなる上に、疲労回復にもつながるのでより効果的です。

手早く塩分・糖分を一緒に補給できるスポーツドリンクなどでの水分補給もおすすめです。ただし、カフェインの入った飲み物は利尿作用が強くなるので避けましょう。

👉 ここがポイント

熱中症のときには、上手な水分・塩分補給がポイントです。水分だけでなく塩分も補給することで、症状の改善が期待できます。塩分の補給には、塩分を含む飴・タブレットや梅干しなどもよいでしょう。

リハビリテーション部

当院での脳血管疾患リハビリテーション

脳卒中治療ガイドライン2015では、不動・廃用症候群を予防し、早期の日常生活動作（ADL）向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに出来るだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことがすすめられています。

当院でもガイドラインに準じ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が医師や看護師と連携し早期からリハビリテーションを実施しています。

取り組み

ベッドサイドからの早期リハビリテーション介入

医師のリハビリテーション開始の指示のもと、可能な限り早期より全身状態の評価、拘縮予防、嚥下評価を行っています。

合同カンファレンス（右写真）

週1回、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士が集まり、リハビリの進行状況や、今後の方針の確認など、情報の共有を行っています。



理学療法（PT）

理学療法ではできるだけ早期に病室へ訪れてベッドサイドから開始します。全身状態を見ながら、徐々に身体を起こし、座る、立つ、車いすに移乗する、歩くなど、基本的な運動機能の再獲得を目指します。



作業療法（OT）

作業療法では理学療法と同様、離床、座位や立位、歩行姿勢の安定を図り、早期の日常生活活動（ADL）へ繋げるための訓練を実施しています。また、上肢機能の改善や高次脳機能改善のため、作業を用いた手指巧緻訓練等も行っています。



言語聴覚療法（ST）

言語療法では嚥下機能の評価だけにとどまらず、看護師と連携し、口腔内を清潔に保つことや、管理栄養士と相談し適正な食事形態を考慮するなどの工夫をしています。また、言語障害、記憶・注意等の認知機能に起こる障害（高次脳機能障害）を検査、評価してリハビリテーションを行っています。



● 西和医療センター便り ●

かかりつけ医からの紹介状をお持ちの方は事前の予約をお勧めいたします。

地域医療連携室では、診察の待ち時間を短縮するために事前予約を受け付けています。

紹介状をお持ちの方は、かかりつけ医または、患者さん個人からの電話予約を受け付けておりますのでご利用ください。

<予約専用電話番号はこちら>

奈良県西和医療センター 地域医療連携室(患者支援センター)

TEL 0745-32-0531(直通)

月～金曜日(8:30～20:00) 土曜日(9:00～13:00)



ボランティア 募集中

病院ボランティア はじめてみませんか

当センターでは、現在17名のボランティアの方に病院内の案内や介助が必要な方のお手伝い、車いすの整備やミシンがけ、草木の剪定などを行なっていただいています。

ただ今 認知症患者さんの見守りをしていただけの方を募集しています。

認知症サポート研修を受講された方(受講していなくても可)

患者さんの話し相手になっていただけませんか!?

みなさまの **笑顔** と **あたたかい心** お待ちしています。

お問い合わせは 総務課(ボランティア担当)まで。



職員全員が オレンジリングを もとう

キャンペーン

当院では「職員全員がオレンジリングをもとう」キャンペーンを行なっています。

認知症のある方を正しく理解し、温かく見守ることで、地域のみなさんが安心して暮らせる町作りに協力するための第一歩として活動しています。



平成30年7月12日(木)と7月27日(金)に三郷町地域包括支援センターのご協力により「認知症サポーター研修」を開催しました。

●公開講座案内●

一般の方対象 公開講座

日時：平成30年10月18日（木）
14:00～15:30

会場：王寺町地域交流センター5階
リーベルホール
（北葛城郡王寺町久度2-2-1-501）
最寄り駅 JR王寺駅 近鉄王寺駅

講演1：「変形性股関節症の診断と治療」
奈良県西和医療センター
整形外科 部長 寺西 朋裕

講演2：「いつまでも美味しく
食べるためのコツ」
岩間歯科 歯科医師
青木 久美子 先生



地域住民
公開講座

健康寿命を延ばすための
ヒントとなる
お話を予定しています。

医療職の方 対象の講座

地域医療連携講座（当院にて）

8月23日（木）

消化器・糖尿病内科副部長
相澤 茂幸

ウイルス性肝炎のこれまでとこれから

腎臓内科部長 森本 勝彦

糖尿病性腎症の薬物療法と注意点

9月20日（木）

脳神経外科部長
弘中 康雄

脳腫瘍治療の最新知見



10月25日（木）

心臓血管外科部長 田村 大和

下肢閉塞性動脈硬化症の外科治療

*変更の可能性もあります。詳細はお問い合わせ下さい。

<当院へのアクセス>



地域医療支援病院として、地域と力を合わせて、これまで以上に地域包括ケア・在宅医療の推進にも力をいれて取り組んでいきたいと思っています。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成30年8月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

